

こんにちは  
日本共産党

# 市会議員 西野さち子です



## ゴミ減量、リサイクルで環境にやさしい京都市を!!

醍醐交流会館で焼却灰溶融炉の問題と、京都市のごみ問題の学習会が開かれました。会場いっぱいの方が参加されて、意見交流も行われました。

西野さち子市議は焼却灰溶融施設について報告。「試運転が始まつた5日後にはトラブルで止まりました。その後8回もの事故を起こして止まっています。今回の事故は、1千度の灰の塊が落ちて水蒸気爆発のような状況」との報告に会場からは「えー!」と驚く声が上りました。京都市のごみ問題については、ごみ問題の専門家で元衆



報告・講演する西野  
さち子市議(右)と岩  
佐恵美さん(左)

11/25

「焼却灰溶融炉はやめへ」「ゴミ問題を考えるつどい」



もっと子育てし  
やすい  
京都がいいな  
刷新の会が保育所前  
で宣伝・対話

市政刷新・醍醐の会では、醍醐地域にある保育所の前で、お迎えに来られる保護者の皆さんに「子育てビラ」の宣伝を行っています。

特集「放射能から子どもをまもりたい」のピンクのかわいいビラには、弁護士中村和雄さんの提案が書かれています。アピール度の高い着ぐるみで宣伝すると、子どもたちの人気は抜群です。

「くまさーん握手してー!」の声に、ハンドマイクの声がかき消されることも。若いお母さん、お父さんも全員がビラを受け取って下さいました。ビラには「子どもの医療費どう思う?」や保育所の事、学校給食の事、学童保育所の事などについての中村和雄さんの提案が書かれています。多くの方に読んでいただきたいです。



議院議員の岩佐恵美さんの講演がありました。「ごみを出すのはみなさんです。分別リサイクルを進めるために、がんばりましょう。京都市も事業系ごみを減らすことと同時に、ごみの出ないような施策への切り替えが必要です」との講演に会場からは「ごみの分別で頑張っている。ごみ袋の値段をさげてほしい」の声が上がりました。市長の決断一つで溶融炉は中止できるところまで来ているのではないでしょうか。当日は「焼却灰溶融施設の稼働中止を求める」請願署名が提案されました。

西野さち子市議はくらし環境委員会で、「食品だけでなく、住環境についても市民の不安がある。個人で計測器を購入するのは高価で無理。検査を依頼しても1件当たり4万円近くすると聞いている。国の交付金を活用して、市民に貸し出しのできる簡易な放射能計測器の設置が必要。ぜひ、検討を」と質問しました。交付金は今年度で終わるところを、国は来年度まで伸ばしました。市民の暮らしの安全を守るためにも放射能測定器の貸出制度が必要です。

市政  
だより

放射能の簡易計測器の  
貸出しを求める  
委員会質問